

## 2 . 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は、入居者と一緒に回覧板を回したり、地域の行事に参加する等、地域の一員として生活するという地域密着型事業所としての理念に沿った支援を行なっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域に溶け込めるホームづくりを目指して職員が積極的に近隣との日常的な交流を行ってきたことが実を結んできている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内行事への参加、ゴミ出し、近所の散歩などを通じて近隣の方との会話などの交流がだんだん増えてきたことは評価できる。		今後、さらに町内行事への積極的な参加や、ホームへ来訪される方を増やすような取組みを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価、今回の自己評価を通じて、気づいた点については、職員間で話し合い、改善策を立てて実行している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を会議のメンバーにホームの様子を伝える良い機会として捉えており、家族にも自由に参加できるよう周知している。運営推進会議のメンバーからは、ホームに対する意見、要望を受け入れ支援に活かしている。</p>		<p>運営推進会議が、その機能を有効に活用するために、毎回テーマを変えたり、参加者を変えるなどの変化をもたせるなどの工夫していくことが望まれる。さらに、この機能を活用して、認知症についての地域への理解が深まるような取組みも期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>豊平区連絡協議会、管理者会議などに参加し、区との連携を取っている。</p>		<p>可能であれば、管理者や計画作成担当者の認知症研修の実習施設等の役割を担っていただき、他のホームのサービスの質の向上にも寄与していただくことを望む。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月金銭報告の他、ホームの様子を伝えているホーム便りを送付したり、来訪された時には直接家族にホーム内の様子を伝えている。また、体調急変時や、緊急時にはすぐに家族に連絡を入れており、家族からの信頼も厚い。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付については、重要事項にも明示されており、入居時には説明を行なっている。家族の来訪時には、職員から気軽に話しかけるなど、家族とのコミュニケーションを大事にし、意見を言いやすいような雰囲気づくりにも努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動による入居者のダメージを防ぐよう、残った職員がお互いカバーしながら支援を行なっている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時オリエンテーションや、毎月、勉強会を行い、グループホームの職員として必要な知識、技術の指導を行なっている。また、必要に応じて外部研修にも参加させるなど、職員のスキルアップには力を入れている。 日常業務においては、毎月、「フロアー目標」、「できること」を目標に掲げ、職員のやる気を高めるような取組みも行なっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年3回関連グループホームとの研修、豊平区連絡協議会などを通じて他のホームとの情報交換、相互啓発を行っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には本人、家族とのヒアリングを十分に行い、本人の生活歴を把握した上での支援が行なわれている。入居後も、徐々に慣れるように職員から会話を行ったり、他の入居者とのコミュニケーションに職員が間に入るなど配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	例えば、食事の準備時に、職員が入居者から味付けを教わるなど、入居者、職員がお互いに支えないながら生活を共にしている。入居者には、できることはできるだけ本人の力でこなしてもらい、必要に応じて職員が支援を行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常会話の中で利用者の変化の気づきに努めている。ケアプランは、センター方式を取り入れて、利用者の思いを反映させている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常の支援は、入居者個々のケアプランを頭の中に入れて行なっており、職員がお互いの行動を理解できている。この支援の結果、家族の意向、および職員の意見等に基づき、ケアカンファレンスにおいて話し合いを行ない、計画の作成に活かしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の支援にあたり、変化のあった場合には、その様子をケース記録に記入し、ケアカンファレンス等で職員間で話し合いを行い、計画の見直しに活かしている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>職員の車を借り上げて、外出したり、入居者が希望する外出や緊急時の対応について、家族と相談しながら都度行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関、主治医へ連絡、相談しながら日常的な入居者の健康管理や受診等への支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ケースバイケースとなるが、重度化した場合には、家族、主治医、看護師等の意向を伺いながら、連携を取って対応を決めている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者のプライバシーを損なわないよう、声掛け、誘導の配慮がされている。個人記録の取り扱いについても、十分に気をつけている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の意思を最優先に考え、できるだけその意思に沿うような支援が行なわれている。職員は急がせたすることなく、入居者のペースに合わせて支援を行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は、入居者と一緒になって行っており、入居者から調理、味付けを教わることもある。食事時は、入居者、職員が同じテーブルを囲んで、会話もはずみ、楽しい時間を共有していた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は入居者の希望に沿った形で支援が行なわれている。入浴できない場合は、清拭を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居時の面談や、その後の本人、家族との会話から生活歴、楽しみごとを見出し、介護計画に取り入れ、生活支援に活かしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の散歩、買い物など日常的な外出の機会をできるだけ多く取っている。職員はお互いがカバー仕合い、付き添いの支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の鍵はかけておらず、出入りは自由にできている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年2回の緊急避難訓練を実施している。年1回は、消防署の協力をいただきながら実施している。		常に緊急時に適切な対応が取れるよう、日頃から職員に対して、あらゆる場面を想定した訓練や啓発を行っていただくことを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事量、水分摂取量は、個別記録を取っており、体調変化等に気づけるように活用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ホーム内は、明るく、ゆったりとした過ごしやすい雰囲気が醸し出されている。職員が明るく、入居者との会話を楽しんだりしている様子も窺われた。また、室内に季節感を感じられるようなディスプレイ、入居者の作品なども飾られており、家庭的な雰囲気も感じられた。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	馴染みの家具や、家族の写真等を持ち込み、過ごしやすい雰囲気の部屋作りをそれぞれが工夫して行われている。		

 は、重点項目。